

第一基礎設計株式会社

大阪市淀川区三国本町1-5-36

TEL (06) 6396-0639

(06) 6396-0700 (マイコマ専用)

FAX (06) 6395-6900

URL <http://www.d1ks.co.jp>

ダイイチ基礎ニュース

令和2年 第41号

拝啓 盛夏の候、貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
今年の1月頃には想像も出来なかった新型コロナウイルスによる感染拡大
(パンデミック・世界的な大流行)の影響を受け、わが国ではロックダウン
とまでは行きませんが政府による営業自粛によりホテル、飲食および旅行業界
は非常に厳しい状況に追い込まれています。

我々の建設業界はそんなに大きな影響は今の所見受けられておりません。
しかしながら秋以降に景気の落ち込みにより建設工事の減少が予想されます。

この悪条件下に、我々はおお客様の声に真摯に対応し社員一丸となって
この危機を乗り越えていく所存ですので皆様におかれましても、今後一層の
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社は昨年から関西地区でのマイコマ(通称トップベース工法)の
取り扱い件数で**No.1**を達成続けております。関西地区設計事務所の先生方から
マイコマの検討依頼が増えており、お陰様で出荷ton数及び施工件数ともに記録
更新しております。又関西地区以外の案件の検討も増えており、東海地区や
関東地区でも工事施工を行いました。

当社でマイコマを取り扱って40年近くが経ち、皆様方にも
トップベース工法の良さが認められてきたと思います。

建築、土木分野を問わず

- ① 関西新空港やポートアイランド等の埋め立て地
- ② 阪神間の宮水、地下水や海水対策
- ③ 埋蔵文化財を含む地層への杭貫入の防止
- ④ 30年後に建物を撤去する必要がある
- ⑤ 狭間地のため大型重機が搬入出来ない
- ⑥ 地震時の液状化対策として

これ等の理由によりトップベース工法が採用されています。

これからもマイコマの持続的成長を図って参りますので引き続き皆様
のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

最後に皆様も三密を避けながらコロナウイルスに負けぬようご自愛ください。

代表取締役会長 伊庭喜一郎

さて、今回ご紹介する施工例は昨年11月に有田箕島漁協直営施設「浜のうたせ」の基礎に採用
されたトップベース工法(マイコマ)です。

本現場は埋立地で当初、杭基礎を想定しておりました。

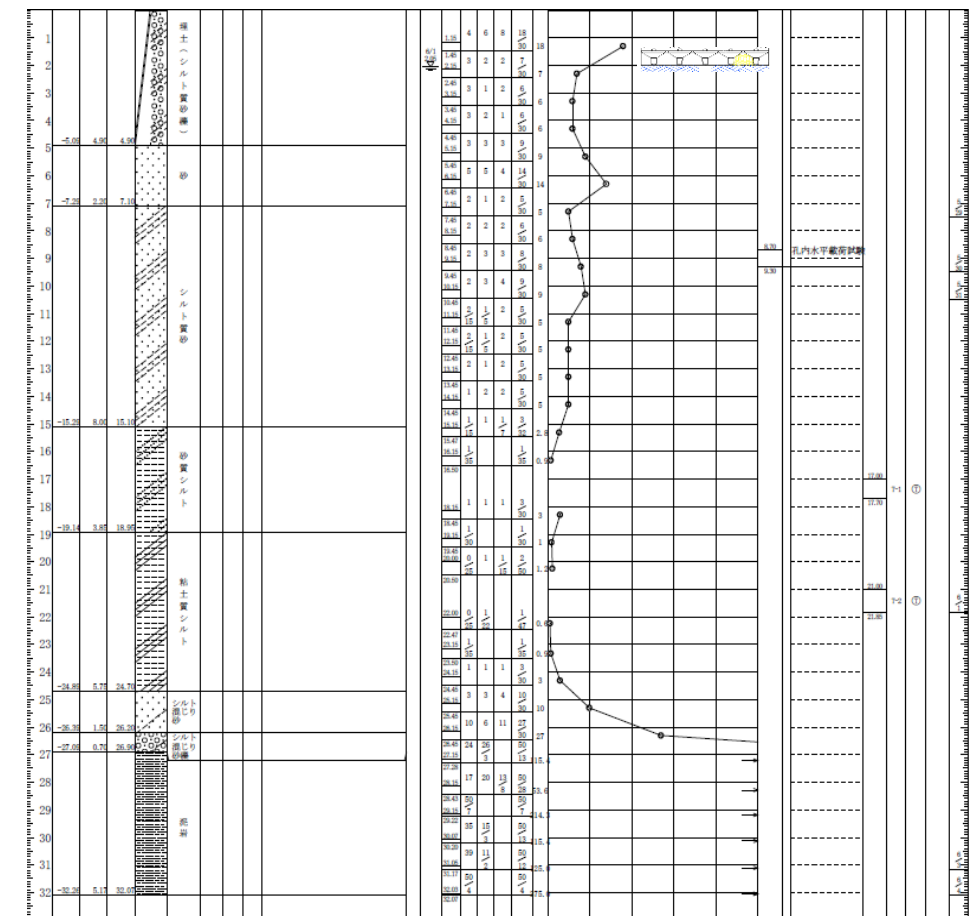
支持層が27mと深く杭を打つとなるとコストがかかる為、代替案はないかとのご相談でした。

ポイントとしては2点ございました。一つはコストメリットが出ること、もう一つは液状化に
対して有効であるということ。

そこで液状化対策として実績のあるトップベース工法をご提案させて頂きコスト面でも
優れていた為、採用に至りました。

—工事概要—	施主	有田箕島漁業協同組合			
	工事名称	(仮称)箕島漁港産直施設(浜のうたせ)建設工事			
	工事場所	和歌山県有田市			
	工事期間	15日			
	建物規模	S造1F			
	マイコマ個数	【販売棟】φ330型	6連	520基	単独築 101個
		【食堂棟】φ330型	6連	187基	単独築 36個
		合計 4,379個			

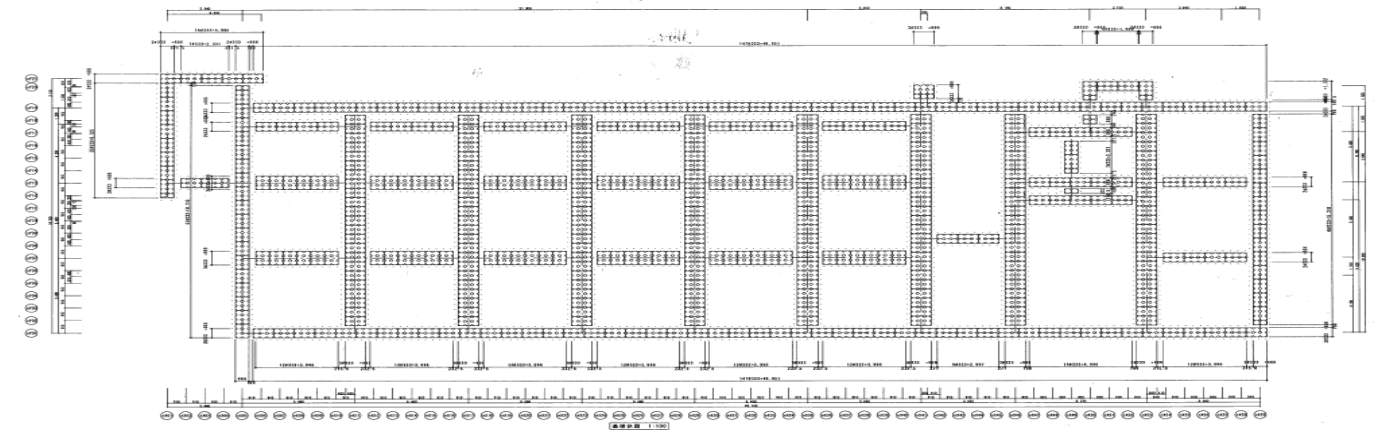
柱状図



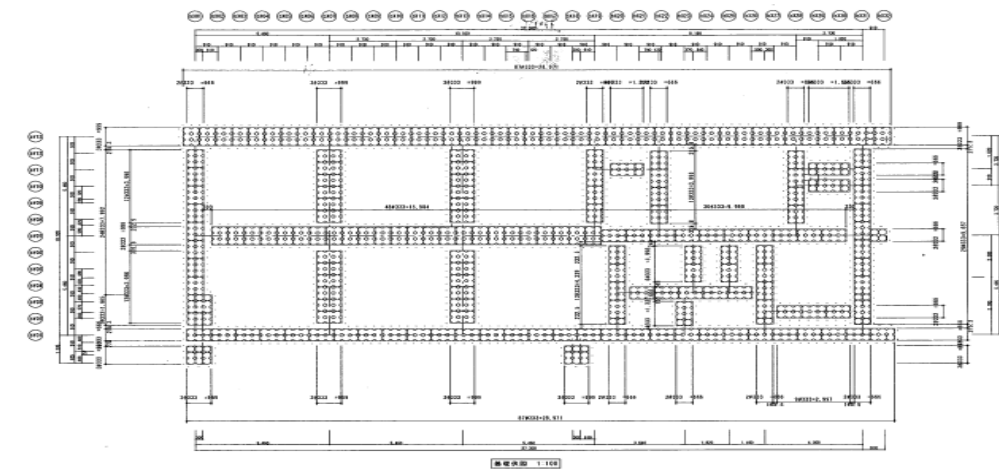
〈施工完了〉



コマ配置図(販売棟)



コマ配置図(食堂棟)



〈施工前〉



竣工写真(リビング和歌山 掲載写真)